

地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000） 交付決定事業一覧（令和7年度第4回交付決定）							（単位：千円）	
団体名		事業名	交付予定額 （千円）	融資予定額 （千円）	金融機関	事業背景	事業概要	地域への貢献
1	三重県 伊勢市	「バイオ・フードテックを主とした、スタートアップ・起業支援と地域交流の拠点形成事業『未来を育む複合施設 神社Cheers（かみやしろチアーズ）』」	18,044 国費：9,022 地方費：9,022	18,086	百五銀行	●伊勢市の産業構造は、飲食・宿泊サービス業などの観光関連産業が大きな割合を占めており、観光客の増減に影響されやすいという点で脆弱性を抱えている。 ●市のインキュベーション等施設が、老朽化等の理由からR5年度末で廃止となり、ものづくり系スタートアップ等を支援するための拠点施設が欠けている。 ●事業実施者は、発酵をはじめ、バイオ・フードテック分野の研究開発力を強みとして、クラフトビール事業で国内外に販路を拡大。	●廃校を活用し、ラボ（研究室）・商談室・会議室などからなるインキュベーション施設を整備。強みであるバイオ・フードテック分野を軸に、スタートアップや起業家へアドバイス。また、コワーキング施設も整備し、利用者同士の交流やコミュニティづくりを促進。 ●ビール製造過程で生じる麦芽粕やきのこと栽培の廃菌床を焼却せずに肥料化（CO2削減）するためのカプトムシの飼育事業や、講演・ワークショップなどの自主事業も展開。 ●産業構造の多角化や、スタートアップによるイノベーション創出につなげ、産業の強靱化を図る。	●事業実施地は、2021年度末に閉校となった「旧・神社（かみやしろ）小学校。地域コミュニティの核であった同校を、再び地域交流の拠点へ。 ●地方の小都市である伊勢から、『スタートアップを育てる。利用者同士の交流からイノベーションを生み出し、地域産業を強靱化。 ●酵母や発酵の知識を地元に戻元することに加えて、地元有力事業者であるため、地域に対して安定的にインキュベーション施設を提供。
2	三重県 伊勢市	「伊勢街道の古民家を活用したマイクロブルワリーによる、クラフトビール製造と観光交流拠点整備事業」	35,000 国費：17,500 地方費：17,500	55,000	百五銀行	●観光客の大半が日帰りの伊勢市は、局所的な交通渋滞の緩和と、宿泊客比率を高める滞在型観光の実現が大きな課題。このため、市内の飲食店等の活性化やリピーター性を高める四季を通じた観光客の関心を集めるコンテンツの創出が必要。 ●外宮と内宮の中間地点、伊勢街道上にある「古市」はその要となる場所、かつて芝居小屋や鼓樓が立ち並ぶ花街として栄えたが、今では行き交う観光客も少なく、空き家が点在する状況になっている。	●伊勢・古市の古民家を改修し、クラフトビールの醸造所をつくる。タッブルーム（試飲スペース、バー）を併設し、外宮・内宮の参拝者が立ち寄る観光交流拠点とする。 ●豊かで清らかな「古市の井戸水」と、地元の農産物を副原料として、土地に根差したクラフトビールに仕上げる。 ●ビールを観光ルートに組み込み、車移動を中心とした通過型観光ではなく、歩くことを軸とした観光導線の再構築につなげ、滞在型観光による地域経済の活性化を図る。	●多彩な副原料によって独自性を出すクラフトビールの特性を生かし、地元産品の魅力をビールに乗せて伝えることができる。 ●古市は外宮と内宮の間に位置するため、両宮を歩いて参拝するルートにインバウンドを含む観光客を導くことができる。滞在型観光により、周辺の飲食店等にも経済波及効果が見込まれる。 ●観光案内等の機能に加え、創業間もない事業者が試験的に商品を展開し、観光客の反応を得ることのできる「実践型スタートアップ支援拠点」としての役割も果たす。